

前立腺生検を受ける方の入院診療計画書

様






主治医 _____

入院日： _____ 月 _____ 日

受持看護師 _____

病棟： _____ 棟 _____ 階

病棟責任者： _____

病状説明：PSA高値となっており、前立腺癌の疑いがあります。 前立腺針生検にて癌の有無を調べます。 入院期間は2日間です。		退院基準：発熱がない。 血尿が軽度である。 排尿困難(尿閉)がない。	
	外来(入院まで)	入院当日 (/)	翌日退院 (/)
検査 治療 処置	<ul style="list-style-type: none"> ●血液検査を行います。 	<ul style="list-style-type: none"> ●検査前に左手に点滴の管を入れ点滴を行います。検査終了後、管を抜きます。 ●検査までに排便がなければ、浣腸を行うことがあります。 ●リストバンドをつけます。 	<ul style="list-style-type: none"> ●朝、体温・脈拍・血圧を測ります。 ●血液検査があります。
薬剤	<ul style="list-style-type: none"> ●普段内服している薬がありましたらお知らせ下さい。 ●脳梗塞や心臓の病気、血液の病気などで、血液が固まりにくくなる薬などを飲んでいる方は、検査できませんので、必ず申し出て下さい。 <p>< 検査前日 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ●下剤2錠を夜9時にお飲み下さい。 	<ul style="list-style-type: none"> ●昼食後より、お薬をお飲み下さい。(抗生物質、場合によっては、止血剤など) 	<ul style="list-style-type: none"> ●お薬を引き続き内服して下さい。
安静度	●普段通りの生活ができます。	●病院内は自由に歩行できます。	●病院内は自由に歩行できます。
清潔	●入浴できます。	●シャワー浴はできます。	●帰宅後、入浴できます。 
食事・ 栄養管理		<ul style="list-style-type: none"> ●食事の制限はありません。 ●特別な栄養管理 (<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無) 	
説明 指導 教育	<ul style="list-style-type: none"> ●前立腺生検は、前立腺癌の診断に重要な検査です。 ●腰から注射をして肛門周囲に麻酔をかけます。 ●肛門から超音波の機械を挿入し前立腺を針で採取し、前立腺癌の有無を顕微鏡で調べます。 ●生検は泌尿器外来で行います。 ●生検翌日、排尿困難・発熱・出血など異常がなければ、退院可能です。 	<ul style="list-style-type: none"> ●病棟の案内をします。 ●検査前後の経過について説明します。 ●薬剤師の訪問があります。 	<ul style="list-style-type: none"> ●検査後数日以内に高熱が出たり血便・血尿・著しい排尿困難が続くようであれば、必ず受診してください。 ●生検の結果は、約2週間後の外来でお知らせします。 ●検査後1週間は自転車・バイク等の運転はしないでください。 ●検査後から次回外来受診日までには飲酒はしないでください。

上記の内容について説明を受けました。

京都桂病院 泌尿器科 2014.5.16 Ver.9-1

お名前： _____

説明した看護師： _____